

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ふるさと	代表者	北島 淳朗	法人・事業所 の特徴	佐世保港を一望する丘に立つ「小規模多機能ホームふるさと」は、併設施設にグループホームやサービス付き高齢者向け住宅があり、これまで自宅での不安や困っていたことを解消できる事業所です。ゆとりある空間では、レクリエーションや季節ごとの様々な行事はもちろん、思い思いにゆったりと自分の時間をお過ごしいただけます。
事業所名	小規模多機能ホームふるさと	管理者	安藤富代美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・職員研修や活動の具体的な内容等、運営推進会議で知って頂く機会をつくりたい。	・職員研修や活動内容・利用者状況は会議の度に写真付きの資料等で説明している。	・自己評価の内容から職員皆さんで取り組んでいるのがわかります。	・自己評価項目の中で「質を向上するための取組」であげた改善計画「ヒヤリハット報告については件数を増やし、事故防止や管理に活かしていきたい」が達成できず、来年度も引き続き目標にあげ改善に努めていきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	・委員の皆さんから問題ないと認められた。引き続きこの状態を保てるよう、美化活動に努める。	・季節の植物を植えたり、ご利用者の皆さんも一緒に参加して環境作りを行った。	・特に問題ない。	・引き続きこの状態を保てるよう、美化活動に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	・来年度もオープンホームや介護予防型通信カラオケを利用した交流会を開催し、地域の方々に事業所をより知って頂く機会を増やす。 ・地域の皆様に気楽に遊びに来て頂く様な交流行事を今年度以上に考えていきたい。	・介護予防型通信カラオケを利用した交流会の開催や、地域へ出向いて（横瀬地区）出前講座を開催し、脳トレーニングや小規模多機能型居宅介護事業所としての機能や役割の説明を行いました ・地域の夏祭りや図書館祭り等へご利用者と一緒に参加しました。	・出前講座が好評だったと聞きました（地域・行政） ・小規模で実施している脳トレーニングを、西海市の総合事業（わいわいサロン・百歳体操等）でも出前講座として開催して欲しいと思います（行政）	・出前講座が好評だったので、来年度も引き続き計画していきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域に出向いて（地域の集会やイベント等）の介護相談会の実施や事業所としての役割を説明していきたい。	・利用者以外の相談例として、福祉サービス全般の相談が電話や来所時にあり、介護保険申請の手続きや居宅・福祉事務所の紹介等相談内容によって専門部署の紹介へ繋がった例があります。	・自分の地域の独居高齢者が以前、高潮が怖いのでと相談し、ふるさとに宿泊させていただいた例があり感謝されていました。（地域）⇒それを機に、現在その方は小規模に登録されてご利用されています。（事業所）	・「出前講座」の中で相談できる関係を構築していきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・参加者の中から事前にご提案頂いて事例検討を行ったり、困難事例の受け入れ等の報告を行い、運営推進会議を有意義な場としていきたい。	・運営推進会議参加者のみなさまからの提案はありませんでしたが、事業所で受け入れた多職種が連携して対応した事例を、今年度の第3回運営推進会議で報告させていただきました。	・来年度は包括で取組みまれた困難事例や多職種の連携事例を運営推進会議の中でお伝え頂き参考にさせていただきます（事業所）	・運営推進会議で活発な意見交換が行えるような会議運営に努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	・全国規模で様々な災害が発生しており、法人としても日々の訓練や備えを充実していきたい。 ・地域で災害が発生した場合は、被災者を積極的に受け入れられるような体制づくりに努めていきたい。	・地域の方を交えた会議や、消防団・消防署と連携した避難訓練を開催したり、ハザードマップを作成し事業所の見やすい所に掲示した。また、積極的に地域の被災者を受け入れられるような体制づくりも整えている。	・防災計画は火災だけではなく、他にもあるんですか？（地域）。みなさんがわかりやすいところに防災計画は保管してあるんですか？（行政）⇒火災・風水害・地震等の防災計画をたてています。ハザードマップを作成し目立つ場所に掲示してあります。	・引き続き防災・災害対策訓練や研修に法人全体で取り組んでいきたい。

